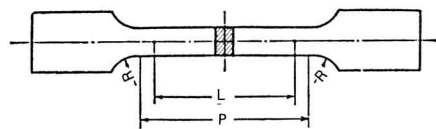


標点距離 $L = 8\sqrt{A}$ (Aは試験片の
平行部の断面積)
 平行部の長さ $P = L + \text{約}10\text{mm}$
 幅 $W = 15\text{mm}$
 肩部の半径 $R = 15\text{mm}$ 以上
 厚さは、もとの厚さのままとする。

図 4 - 6

(7) 7号試験片

この試験片は、主として引張強さの大きな平鋼、鋼板および角鋼の引張試験に用いる。

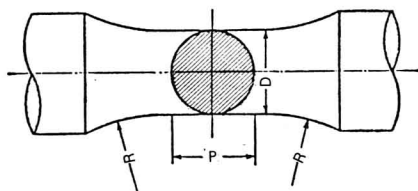


標点距離 $L = 4\sqrt{A}$ (Aは試験片の
平行部の断面積)
 平行部の長さ $P = \text{約}1.2L$
 肩部の半径 $R = 15\text{mm}$ 以上
 厚さはもとの厚さのままとし、幅は厚さよ
より大きくとることを原則とする。

図 4 - 7

(8) 8号試験片

この試験片は、主として一般鋳鉄品の引張試験に用い、表に示す寸法の供試材を加工して平行部の直径をDに仕上げる。

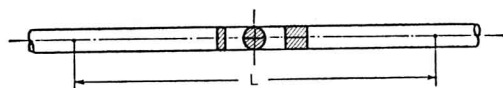


試験片の 区別	供試材の 鋳造寸法 (径)	平行部 の長さ P	単位 mm	
			径 D	肩部の 半径 R
8 A	約 13	約 8	8	16以上
8 A	約 20	約12.5	12.5	25以上
8 A	約 30	約20	20	40以上
8 A	約 45	約30	32	64以上

図 4 - 8

(9) 9号試験片

この試験片は、主として鋼線および非鉄金属（またはその合金）の線の引張試験に用いる。



試験片の区別	単位 mm	
	標点距離 L	
9 A	100	
9 B	200	

図 4 - 9